



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月4日

上場会社名 株式会社 バロー 上場取引所 東名
 コード番号 9956 URL <http://www.valor.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田代 正美
 問合せ先責任者（役職名） 取締役財務部長（氏名） 志津 幸彦 (TEL) 0572-20-0804
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	202,146	8.8	7,250	53.3	7,631	52.3	4,184	276.4
23年3月期第2四半期	185,758	8.4	4,728	9.2	5,010	10.3	1,111	△38.0

（注）包括利益 24年3月期第2四半期 4,056百万円（262.9%） 23年3月期第2四半期1,117百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	82.16	81.70
23年3月期第2四半期	21.83	21.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	194,738	65,269	33.1
23年3月期	190,065	61,821	32.1

（参考）自己資本 24年3月期第2四半期 64,439百万円 23年3月期 60,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
24年3月期	—	12.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	419,500	10.6	14,100	14.2	14,200	10.8	6,400	51.2	125.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	52,661,699株	23年3月期	52,661,699株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,731,677株	23年3月期	1,731,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	50,930,465株	23年3月期2Q	50,931,630株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
4. 四半期連結財務諸表等.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報等.....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響、長期化する円高によって輸出が減少するとともに、企業収益や設備投資の動向も鈍化する厳しい状況になり、今後の深刻な影響が懸念されております。

小売業界におきましては、雇用情勢の厳しさによる個人消費の冷え込みや、震災の影響による食材価格の高騰、食の安心・安全への意識の高まり等により厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは積極出店による事業規模の拡大を図るとともに、より高品質・低価格を目指した商品開発、従業員教育充実によるサービスレベルの向上等により、店舗における営業力の強化を進めてまいりました。グループ全体の店舗数は、6月30日にドラッグストア2店舗を出店した時点で500店舗に到達し、当第2四半期末では509店舗を擁しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は、前年同期比8.8%増収の2,021億46百万円となりました。また、営業利益は前年同期比53.3%増加の72億50百万円に、経常利益は前年同期比52.3%増加の76億31百万円となり、それぞれ増益を達成いたしました。四半期純利益につきましては、前年同期のような特別損失14億83百万円(資産除去債務に関する会計基準変更によるもの)の計上がなくなったことから、前年同期比276.4%増の41億84百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<スーパーマーケット事業(SM)事業>

SM事業の営業収益は1,447億43百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益は49億65百万円(前年同期比43.3%増)となりました。

基幹事業であるSM事業につきましては、引き続き業容拡大と営業力強化の両面に注力いたしました。店舗につきましては、SMバロー10店舗、ユース1店舗を新規に出店し、第2四半期末現在のSM店舗数はグループ合計で213店舗となりました。なお、バロー10店舗の出店のなかには、7月に100%子会社とした同業の株式会社ファミリースーパーマルキ(岐阜県山県市)の3店舗を改装・再開店した分が含まれております。

商品政策では、「サプライズ50」として50品目から開発をスタートした、圧倒的低価格の自主企画商品が、6月末には100品目に達しました。また、自社物流網の活用により、当日早朝に水揚げされた鮮魚を、昼には店頭で販売するという取り組みを開始するなど、生鮮食品の強化にも注力いたしました。

このような施策がご好評をいただいたことなどから、8・9月には豪雨や台風の影響により客数が伸び悩む局面があったものの、当第2四半期累計におけるバロー本体のSM既存店売上高は、前年同期比で2.3%伸長いたしました。

<ホームセンター事業(HC)事業>

HC事業の営業収益は202億86百万円(前年同期比9.0%増)、営業利益は11億74百万円(前年同期比140.4%増)となりました。

同事業につきましては、原発事故に端を発した節電要請が高まる中で、省エネ効果の期待できる商品や、夏場の高温対策に有効な商品などが注目され、販売が増加いたしました。また、昨年を通して行った専門性強化を目的とした売り場改装がお客様にご支持いただいたこともあり、当第2四半期累計の既存店客数は前年同期比で6.7%伸長し、同じく既存店の売上高は前年同期比9.3%と大幅に伸長いたしました。新規の出店はなく、1店舗を閉店して第2四半期末現在の店舗数は35店舗となりました。

<ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業の営業収益は271億18百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益は8億62百万円(前年同期比64.6%増)となりました。

同事業につきましては、5店舗の出店と1店舗閉鎖にともない、当第2四半期末店舗数は178店舗となりました。また、26店舗で改装を実施し、営業力の強化を図りました。商品面では、震災以降に生活必需品の需要が増加したのに加え、夏場の気温上昇に関連した季節商品も前年比で顕著な伸びを示しました。このほか、全店で低価格戦略を推進したことの効果もあり、ドラッグストアの当第2四半期既存店売上高は前年同期比で3.6%増加いたしました。また、荒利益率・販売管理費率ともに前年同期比で改善を果たしたことにより、大幅な増益を達成することが出来ました。

<スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業の営業収益は42億97百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は88百万円(前年同期は営業損失73百万円)となりました。

同事業につきましては、タブレット端末を利用した見学案内システムや顧客満足度向上プロジェクト等により、9月末の会員数が前年同期比で6.4%増加いたしました。当第2四半期末の店舗数は出退店の変動はなく51店舗でしたが、荒利益率の改善により、営業損益で黒字転換を達成することが出来ました。

<流通関連事業>

流通関連事業の営業収益は30億20百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益は13億83百万円(前年同期比15.4%増)となりました。

流通事業に関連するその他のグループ企業では、流通事業の規模拡大に的確に対応するためのインフラ整備や、サービスレベルの維持向上を図って参りました。

<その他の事業>

その他の事業の営業収益は26億80百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益は1億17百万円(前年同期比横ばい)となりました。

同事業につきましては、ペットショップ事業、衣料品等の販売業、保険代理店及び温泉事業等であります。ペットショップ事業は1店舗を新たに outlets し、当第2四半期末現在店舗数は17店舗であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ46億73百万円増加し、1,947億38百万円となりました。これは主に現金及び預金6億31百万円、棚卸資産13億57百万円及び有形固定資産19億77百万円の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ12億25百万円増加し、1,294億69百万円となりました。これは主に、買掛金14億81百万円、設備支払手形11億33百万円及び社債69億80百万円が増加したものの、未払法人税等11億91百万円、短期借入金57億19百万円及び長期借入金16億35百万円の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ34億48百万円増加し、652億69百万円となり、自己資本比率は33.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績につきましては、平成23年5月10日決算発表時の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,800	14,432
受取手形及び売掛金	4,330	4,503
商品及び製品	19,581	20,923
原材料及び貯蔵品	353	368
その他	7,486	7,236
貸倒引当金	△22	△18
流動資産合計	45,530	47,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	62,973	63,977
土地	33,420	32,704
その他(純額)	10,067	11,757
有形固定資産合計	106,461	108,438
無形固定資産		
のれん	1,048	1,288
その他	5,515	5,544
無形固定資産合計	6,564	6,832
投資その他の資産		
差入保証金	21,879	22,426
その他	10,185	10,086
貸倒引当金	△555	△491
投資その他の資産合計	31,509	32,021
固定資産合計	144,535	147,292
資産合計	190,065	194,738

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,370	27,852
短期借入金	34,244	25,609
未払法人税等	4,336	3,145
賞与引当金	1,756	1,960
引当金	546	512
資産除去債務	5	5
その他	11,375	12,613
流動負債合計	78,636	71,699
固定負債		
社債	4,148	11,129
長期借入金	27,502	28,782
退職給付引当金	2,225	2,209
引当金	1,334	1,363
負ののれん	184	157
資産除去債務	3,218	3,324
その他	10,993	10,802
固定負債合計	49,607	57,770
負債合計	128,244	129,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,916	11,916
資本剰余金	12,670	12,670
利益剰余金	38,861	42,434
自己株式	△2,215	△2,215
株主資本合計	61,233	64,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△235	△366
その他の包括利益累計額合計	△235	△366
新株予約権	344	346
少数株主持分	478	482
純資産合計	61,821	65,269
負債純資産合計	190,065	194,738

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	178,969	194,682
売上原価	137,204	148,225
売上総利益	41,764	46,456
営業収入	6,789	7,464
営業総利益	48,554	53,920
販売費及び一般管理費	43,825	46,670
営業利益	4,728	7,250
営業外収益		
受取利息	87	91
受取配当金	17	15
持分法による投資利益	26	27
受取事務手数料	287	322
受取賃貸料	383	419
負ののれん償却額	26	26
その他	355	424
営業外収益合計	1,185	1,328
営業外費用		
支払利息	311	305
不動産賃貸原価	556	568
その他	35	72
営業外費用合計	903	947
経常利益	5,010	7,631
特別利益		
固定資産売却益	1	71
貸倒引当金戻入額	—	70
前期損益修正益	10	—
違約金収入	17	6
持分法による投資利益	47	28
退職給付制度改定益	—	127
その他	3	9
特別利益合計	80	313
特別損失		
固定資産売却損	5	81
固定資産除却損	145	61
減損損失	54	392
前期損益修正損	8	—
債務保証損失引当金繰入額	52	37
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,483	—
その他	262	25
特別損失合計	2,012	599
税金等調整前四半期純利益	3,078	7,345

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
法人税、住民税及び事業税	2,603	3,218
法人税等調整額	△629	△61
法人税等合計	1,973	3,157
少数株主損益調整前四半期純利益	1,105	4,188
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△6	3
四半期純利益	1,111	4,184

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,105	4,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△131
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	12	△131
四半期包括利益	1,117	4,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,123	4,053
少数株主に係る四半期包括利益	△5	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,078	7,345
減価償却費	4,237	4,525
のれん償却額	267	282
減損損失	54	392
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13	△67
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8	△72
受取利息及び受取配当金	△105	△107
支払利息	311	305
持分法による投資損益(△は益)	△74	△55
固定資産除却損	145	61
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,483	—
売上債権の増減額(△は増加)	△161	△110
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,423	△1,341
仕入債務の増減額(△は減少)	3,070	1,436
その他	324	272
小計	11,231	12,867
利息及び配当金の受取額	39	39
利息の支払額	△255	△240
法人税等の支払額	△2,221	△4,358
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,793	8,307
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,842	△4,525
無形固定資産の取得による支出	△241	△234
差入保証金の差入による支出	△553	△957
差入保証金の回収による収入	460	450
預り保証金の受入による収入	238	50
預り保証金の返還による支出	△246	△177
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△27
事業譲受による支出	△454	—
その他	372	△617
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,267	△6,040
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,976	△5,735
長期借入れによる収入	2,400	5,800
長期借入金の返済による支出	△4,054	△7,539
社債の発行による収入	—	6,961
社債の償還による支出	△82	△62
配当金の支払額	△509	△610
その他	△230	△271
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,452	△1,458
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△926	809
現金及び現金同等物の期首残高	9,259	13,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,333	14,356

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット 事業	ホームセ ンター事 業	ドラッグ ストア事 業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	132,426	18,606	24,984	4,262	2,885	183,165	2,487	185,653
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	790	6	1	1	8,880	9,680	94	9,775
計	133,217	18,613	24,985	4,264	11,766	192,846	2,581	195,428
セグメント利益又は損失 (△)	3,465	488	524	△73	1,198	5,603	117	5,721

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップの営業、衣料品等の販売業、保険代理店及び温泉施設の営業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,603
「その他」の区分の利益	117
セグメント間取引消去	349
全社費用(注)	△1,342
四半期連結損益計算書の営業利益	4,728

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット 事業	ホームセ ンター事 業	ドラッグ ストア事 業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	144,743	20,286	27,118	4,297	3,020	199,465	2,680	202,146
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	878	8	4	0	9,759	10,652	217	10,869
計	145,622	20,294	27,123	4,298	12,779	210,118	2,897	213,015
セグメント利益	4,965	1,174	862	88	1,383	8,474	117	8,591

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップの営業、衣料品等の販売業、保険代理店及び温泉施設の営業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	8,474
「その他」の区分の利益	117
セグメント間取引消去	295
全社費用(注)	△1,637
四半期連結損益計算書の営業利益	7,250

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。